

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 656-0046
住 所 兵庫県神戸市中央区港島中町 4 丁目 1 番 1
氏 名 株式会社ダイエー 印
代表取締役 桑原 道夫
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ダイエー		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区白石町 6 番 1 号		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	セルフサービスを主体とする商品の小売業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		5,892 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t - CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名 関東営業本部 総務人事部 総務課	
	所在地	所 在 地 東京都板橋区成増 2 - 2 1 - 2	
	電話番号		03-6891-3715
	F A X 番号		03-6891-3801
	メールアドレス		

受付欄		特記事項	事業者番号	

(第 2 面)

計 画 期 間 及 び 報 告 年 度	平成22年度 ～平成24年度 （報告年度22年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標排出量
排 出 量	(実) 7,799 t-CO ₂ (調) 6,358	(実) 7,428 t-CO ₂ (調) 6,050	(実) t-CO ₂ (調)	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 7,565 t-CO ₂ (調) 0
削 減 率		(実) 4.8 % (調) 4.8	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原 単 位 の 活 動 量			単 位		
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度の値
排 出 量 原単位等の値					
削 減 率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第 1 年度	1 . 川崎プロセスセンターにおいて、食品加工業者のレイアウト変更を実施し 照明、冷蔵庫等の効率的運用を図ったことにより大きく削減出来た。 2 . フーディアム武蔵小杉店、ダイエー向ヶ丘店においては 2 2 年度の省エネ機器導入は 実施出来なかったが、照明の間引き、空調の効率運転、冷凍機の温度設定の見直し などにより、両店舗とも温室効果ガスの削減が図れた。
第 2 年度	
第 3 年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	1 . 主要設備等の保全管理 (1) 主要設備の管理標準作成 (2) 主要設備ごとのエネルギー使用量の把握と省エネ化 2 . 照明設備の省エネタイプへの変更 (1) 蛍光灯を H f タイプへ変更 (2) 省エネ型 W エコ 1 灯用器具への変更 (3) L E D 蛍光器具への変更 (4) 誘導灯を L E D 器具へ変更 3 . 熱源周りの更新 (1) ボイラー排ガス温度有効利用の検討 (2) 冷却水・冷温水ポンプの回転数制御装置等の採用
	第 1 年度	1 . 主要機器の管理標準を作成した。 2 . 設備単位のエネルギー消費量一覧表を作成した。 3 . 施設内の共用部の一部の照明を H f 蛍光灯に更新した 4 . 共用部空調温度設定調整及び 照明間引きを実施した。 設定温度 2 5 度 → 2 8 度 照明間引き 2 本 → 1 本に変更
	第 2 年度	
	第 3 年度	
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

[illegible][illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第 1 年度	なし
第 2 年度	
第 3 年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1 . 店舗廃棄物の管理 店舗にて発生する廃棄物の減量化、分別化、リサイクル化の推進を行う 2 . 紙の排出量の削減 O A 用紙・コピー用紙を 2 0 1 1 年度までに 2 0 0 7 年度比 店舗 4 0 % 事務所 5 0 % 削減する 3 . 水使用量の削減 水使用量を 2 0 1 1 年度までに 2 0 0 9 年度比 1 5 % 削減する
第 1 年度	1 . 店舗廃棄物の管理 食品リサイクルは 2 0 1 0 年度法定目標 27.7% に対し 29.1% と達成し、1 1 年度は 31% を目指し 店舗数を拡大する。
第 2 年度	
第 3 年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	6,884	t-CO ₂
(調)	5,922	

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算I礼ギ-使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ダイエー川崎プロセスセンター	川崎区白石町6番1号	6900	不動産賃貸業	4,086 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算I礼ギ-使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
フーディাম武蔵小杉店	中原区新丸子東3-1100-14	5811	各種食料品小売業	878 t-CO ₂
ダイエー向ヶ丘店	多摩区登戸2789	5611	百貨店・総合スーパー	1,920 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算I礼ギ-使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はI礼ギ-使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はI礼ギ-使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数